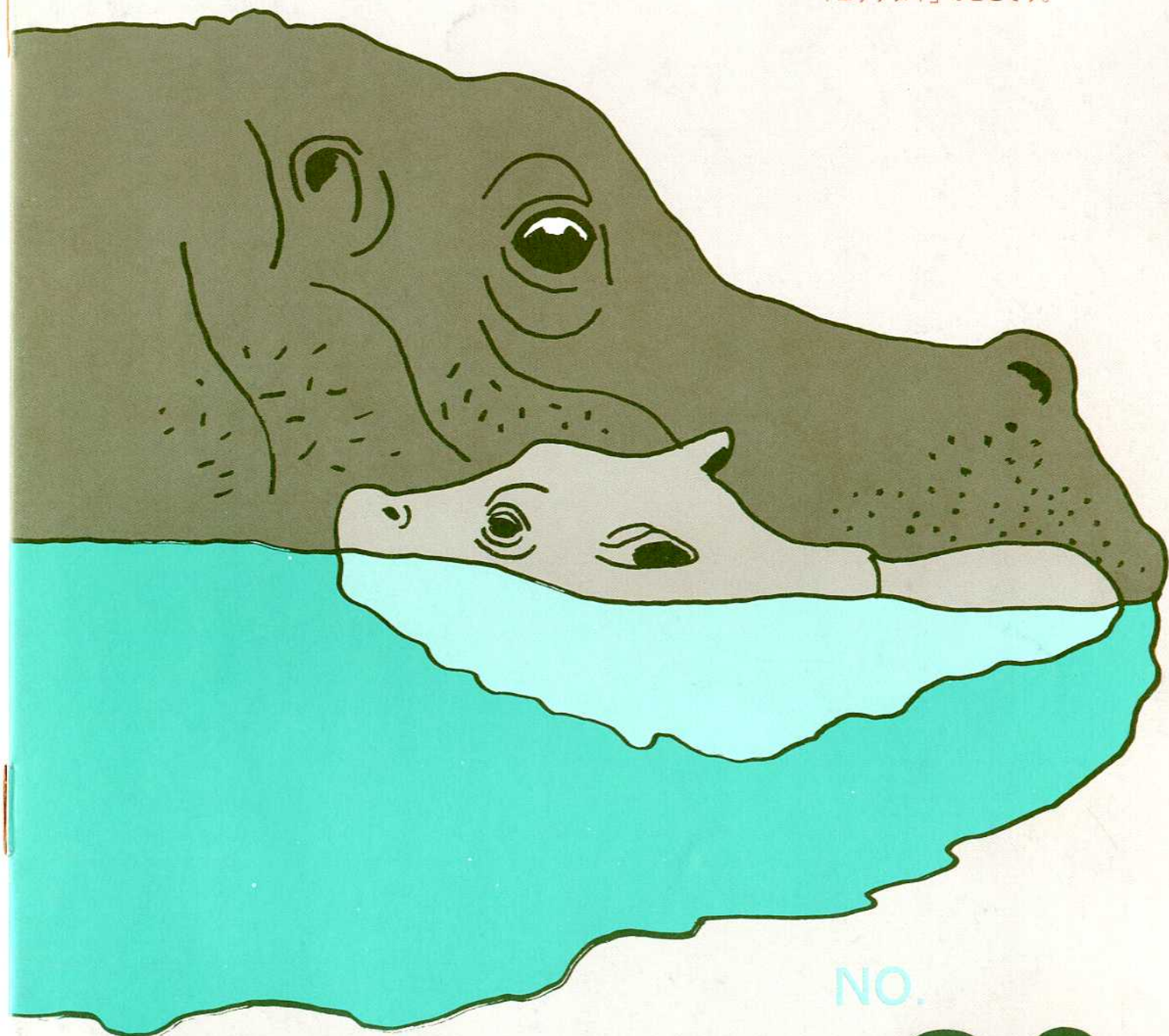




あさひやまどうぶつえんニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

モユク★カムイ

☆モユク・カムイとはアイヌ語で
「エゾタヌキ」のことです。



NO.

30

NOV 1992



表紙のことは

動物の赤ちゃんはほれもめんた
めんこい。赤ちゃんが産まれるたび
新鮮で、やさしい気持ちに
させられ、そう思う。あべの赤ちゃんも
もらふん。そう、あめでかいお母さんに
見えかくれする。あべの赤んぼカベは
特にめんこい。

森もくじ

- 2 ほっと ひとPhoto
- 3 新・動物解析考 小倉百人一首の秋
- 4.5 シリーズ「動物ってなんだろう？」
第5回「リス・ネズミ・ウサギの仲間」
その2 ネズミ
- 6.7 第24回児童動物画コンクール優秀作品
- 8 最近の動物園事情
Vet News (動物病院から)
- 9 飼育研究レポート
- 8年ぶりの出産 -
- 10 ゲンちゃんの追求コーナー
- どうして犬はしゃべれないの -
クイズ
- 11 飼育日誌・お知らせ



新・どうぶつ解析考

百人一首

秋の歌には動物がよく詠まれている

あしひきの 山鳥の尾の しだり尾の
ながながし夜を ひとりかも寝む

柿本人麿

ヤマドリは長い尾、それも先がスッと下がっているところまでよく観察していると思う
ヤマドリは昼は夫婦と一緒にいるが、夜は谷をへだてて別々に寝るとされていたそうで、何ともおもしろい発想だ

きりぎりす なくや霜夜の さむしろに
衣かたしき 独りかも寝む

後京極摂政前太政大臣

有名な歌である。きりぎりすがコオロギを指すことがよく知られているのは、この歌のおかげ
ちなみに、キリギリスのことは“はたおり”と言った

秋の動物は、やはり鹿。百人一首にも三首に読み込まれている
代表はこの歌。紅葉と鹿のイメージを定着させた

奥山に 紅葉ふみわけ 鳴く鹿の
声きくときぞ 秋はかなしき

猿丸大夫

シカの声が悲しく聞こえるのも 秋のせい
秋はいつの世も、もの想う秋で、人を悲しくさせるようだ
ただし、北米産のワビチの声は、どんな精神状態で聞いても悲しくは聞こえない
やはり秋を感じさせるのは日本の鹿だ

第5回 「リス・ネズミ・ウサギの仲間」

野ねずみは地球上で一番繁栄している「けもの」ですが、その生活は意外と知られていません。なぜでしょう？



その3

野ねずみ



●げっ歯目ネズミ科

“ねずみ”と聞いただけでも「わーっ、いやだ」と感じる人がたくさんいると思いますが、そのとき頭に浮かべる“ねずみ”はいわゆる「家ねずみ」と呼ばれているもので、世界中にすむネズミ約1,000種のうち、ドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミのわずか3種にすぎません。これらはもともと日本にはすんでいなかったネズミで、いつの頃から外国から船で運ばれ、野生化したものと考えられています。

実は日本にも、もともとすんでいた野生のネズミがいます。小さくて、可愛らしく、赤褐色の美しい毛並をしたネズミで「野ねずみ」と呼ばれます。今回はこの「野ねずみ」を取り上げます。

●日本の野ねずみ

日本には表1のとおり21種の野ねずみがいる。大きく分けて、ネズミ亜科とキヌゲネズミ亜科の2つのグループがある。両者は臼歯の構造の違いで分けられるのだが、外見では「耳が大きく、尾が長く、ねずみらしい姿をしているのがネズミ科」で、「耳が丸くて小さく、尾が比較的短く、ずんぐりとした体、本当にねずみ？と思ってしまうのがキヌゲネズミ亜科」だ。

表1

ネズミ亜科

- アカネズミ
- エゾアカネズミ
- カラフトアカネズミ
- ミヤマアカネズミ
- シマアカネズミ
- ヒメネズミ
- セスジネズミ
- カヤネズミ
- アマミトゲネズミ
- ケナガネズミ

キヌゲネズミ亜科

- エゾヤチネズミ
- ミカドネズミ
- リシリムクゲネズミ
- ミヤマクゲネズミ
- シコタンヤチネズミ
- ニイガタヤチネズミ
- ワカヤマヤチネズミ
- トウホクヤチネズミ
- スミスネズミ
- カゲネズミ
- ハタネズミ

●北海道の野ねずみ

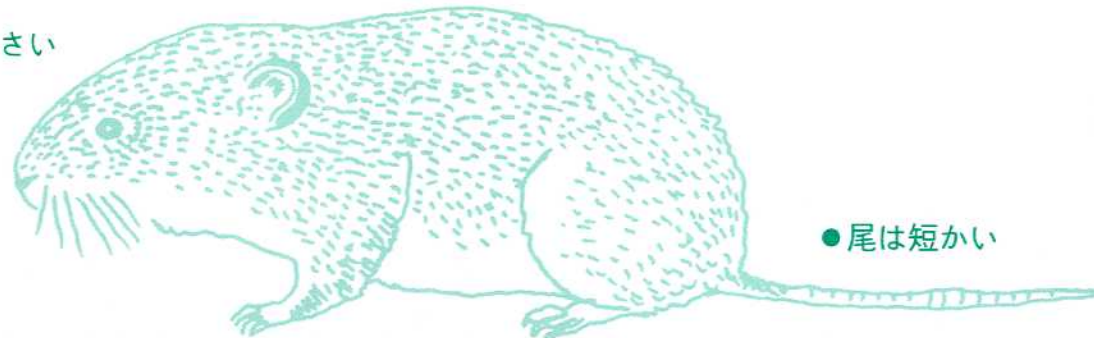
属名	種名または亜種名	頭胴長	尾長
ヤチネズミ属	エゾヤチネズミ	133mm	50mm
	ミカドネズミ	95mm	40mm
	リシリムクゲネズミ	エゾヤチネズミよりやや大型	
	ミヤマクゲネズミ	エゾヤチネズミよりやや大型	
アカネズミ属	ヒメネズミ	84mm	100mm
	エゾアカネズミ	114mm	104mm
	カラフトアカネズミ	85mm	78mm

<注>体長、尾長ともに成体(おとな)の平均値

エゾヤチネズミ

Clethrionomys bedfordiae

- 河川敷や草原・田畑など
いろいろな環境にすむ
- 背毛は赤褐色
- 耳は丸く小さい
- 目は小さくつぶら



- ぶんぐりした体つき
- 腹毛は黄褐色
- 尾は短い

- 耳は大きい
- 背毛はキツネ色



- 目はぱっちり
- 腹毛は白
- 尾は長い

エゾアカネズミ

Apodemus aim

- おもに森林にすむ

●エキノコックス

道東の風土病と思われていたエキノコックス症が全道で発見され、大きな社会問題となっています。このエキノコックス症は多包条虫という寄生虫が人間の肝臓に寄生して起こす病気です。

多包条虫の生活は親虫がキツネの腸内に寄生し、産卵します。卵は野ねずみの口から取り込まれると、幼虫が肝臓に寄生します。その野ねずみがキツネに食べられて、幼虫が狐の腸内で成虫となります。卵が直接キツネに入っても感染しませんので、多包条虫の生活には野ねずみとキツネが必要です。親虫の寄生するキツネを終宿主、幼虫の寄生する野ねずみを中間宿主といいます。

エキノコックスにかからないようにするために、「北海道のキツネを残らず殺してしまえ」という暴論を口にする人もいますが、そのようなことはできるはずもありませんし、またするべきでもありません。キツネを人間の生活域に立ち入らせないようにすれば、ある程度感染を防止することができます。観光地でキツネの餌付けをしたり、農地の近くにキツネの餌となるようなものを捨てたりすることは、キツネの生息数を増やし、キツネを人に近付けることとなります。これではエキノコックス症にかかりたいといっているようなものです。野生動物と上手につき合うには、正しい知識が必要なのです。

●食料源

野ねずみはキツネ、テンなどの肉食動物や、ワシ、タカ、フクロウなど猛禽類の重要なエサとなっており、繁殖力も旺盛で個体数も非常に多い。

研究者がフクロウのペリットから食べていた動物を調べたところ、なんとエサの90%以上が野ねずみだったことが判った。

野ねずみは森林や畑に多くの被害をもたらす動物だ。もしフクロウがいなければ、その被害はどのようなものとなるか、想像すらできないだろう。

※ペリット：猛禽類などがエサをまる飲みにして、消化できないものをまとめて吐き出したもの。ほとんどが骨や毛なので食性の研究には最適。

第24回 児童動物画コンクール

うまいぞう
かんしん
かんしん

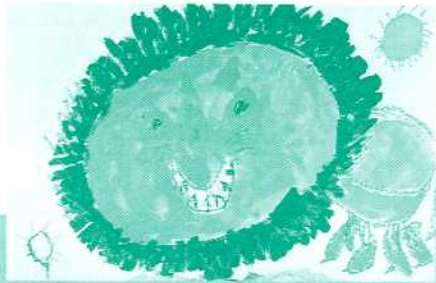
優秀作

やったね
おめでとう

幼児の部



まつの まい
(旭川ねむのき保育園)



佐藤 翔太
(きくし幼稚園)



廣田 直也
(日の出倉沼へき地保育所)



あおの はじめ
(らんけい保育園)



森川 景太
(千代田保育園)

低学年の部



つぼい みさこ
(忠和小学校・2年)



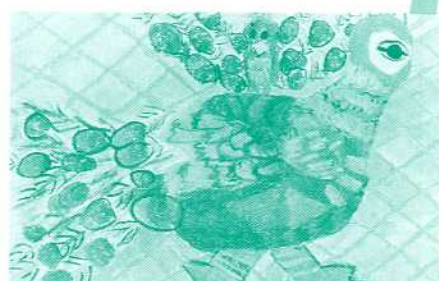
岡崎 匡能
(旭川小学校・2年)



木下 真央
(正和小学校・1年)



しろ あゆみ
(永山東小学校・1年)



難波 志帆
(正和小学校・2年)

中学年の部



池田 佳暢子
(永山東小学校・4年)



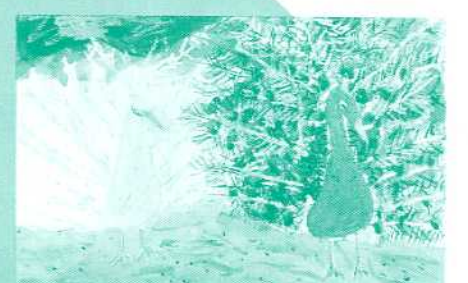
おだぎりしょうこ
(教育大附属旭川小学校・3年)



板垣 由香理
(旭川第七小学校・4年)



大槻 あゆみ
(永山東小学校・3年)



山崎 里枝
(日章小学校・4年)

高学年の部



成田 悠
(新富小学校・6年)



吉田 久寛
(新富小学校・6年)



瀬戸 幸子
(永山東小学校・5年)



柴田 麻美
(永山東小学校・5年)



大沢 香苗
(永山東小学校・6年)



これからの動物園を考える。



動物園事情 - 亜種 -

「亜種」……聞きなれない言葉かもしれない。

動物園へ行って動物種名の書いた看板を見ると、学名と書いて何やら横文字が並んでいる。万国共通の科学的な名前で、二命法といい、属名と種名で表わしている。ところがよく見ると、中に3つの単語で表記している動物がいることに気付くはずだ。その最後に書いてあるのが亜種名で、種は同じだけれども、細かなところでは違っているグループを分けるときに必要な。トラという種のアムールトラ、ベンガルトラという亜種という具合にだ。

10月1日に動物園技術者研究会の皆さんが旭山動物園を視察したときのことだ。豊橋市動物園の獣医さんが「愛知のコノハズクと違うよ!？」と盛んに写真を撮っていた。同じ日本のコノハズクなのに愛知で繁殖するグループと、旭川で繁殖するグループでは模様が明らかに違っているという。

もし、これが亜種の違いによるものだとすれば、簡単に北海道の個体を愛知に移動して共同繁殖させることはできなくなる。せっかく繁殖に成功しても亜種間雑種を作ってしまうことになるからだ。種の保存を考えると、亜種についても把握しておかなければ、後になってその始末に苦労することになってしまうのだ。

実際に動物園で飼育されているライオンやトラ、ヒョウなどは亜種の不明なもの、雑種となっているものかなりおり、種の保存計画に支障を来してしまっている。

●エゾシカの角にホース?!

シカの角は春伸び初めて、秋には硬い角になります。伸びている時期の角は袋角といって、皮をかぶった状態です。この時期のオスシカはおとなしくて、メスの方が威張っているくらいです。

ところが秋になって皮がむけて、硬い立派な角になると、急に態度がでかくなります。恋の季節です。本来ならばこの角はオス同士がメスを獲得するための武器になるのですが、当園の場合オスは1頭しかいないし、メスを誰かに横取りされる心配もありません。こうなるとオスは有り余ったエネルギーをメスや子どもにぶつけてしまいます。角で刺してしまうのです。ひどいときには殺してしまいます。内弁慶というか亭主関白もここまで来ると問題です。

動物園では、普通この角を切ってしまう事故を防ぎます。でもこれでは立派なオスシカをお客さんに見てもらえません。そこで当園では今年から、角の先にゴムホースをかぶせて刺さらないようにする画期的な方法を採用しました。角を切ってしまうよりはましだし、遠目にはとんでもなく立派な角に見えたりします。今のところ事故もないし、なかなかいい方法だったと自画自賛している今日この頃です。

Vet. News

—動物病院から—



8年ぶりの出産

動物園のカバ夫婦「ゴン&ザブコ」は旭山動物園が開園した昭和42年から飼育されている、今では数少なくなった開園以来の動物です。今迄にこの夫婦の間には10頭の仔が生まれ、成長した仔たちは各地の動物園で人気者になっています。

しかし、カバは全国の動物園で増えすぎたため、このところ繁殖制限をしなければなりません。1983年に産まれた仔が昨年の夏、韓国の全州市動物園に貰われて行きました。その後飼育係の間でゴンとザブコを同居させるべきか否かが論議されました。「仲の良い夫婦を9年間もの長い間別居生活をさせて来たのだから、同居させてやろうよ」という意見と、「同居させて仔が産まれたらどうするや」という意見。結局「ザブコは足が弱いので、今が仔を産ませる最後のチャンスだ」と、産まれた仔は旭山動物園の2代目として飼育して行く事で話がまとまり、ゴンとザブコにとっては9年振りの夫婦水いらずの生活（失礼、カバにとって水は不可欠）が昨年11月に始まりました。

ゴンの喜び様は大変なもので、一頭でいた時は餌を食べ終わると寝てばかり、飼育係に対して少し敵対視するところもありましたが、ザブコと一緒にしてから、私が部屋の中に入って掃除をしても怒る事なく黙って見ているだけ、性格が温厚になった様です。又、運動量も増え食欲も良くなってきました。

一緒にした時から、ときどき見られていた交尾が、今年1月中旬から見られなくなり、5月頃にはお腹も少し大きくなってきました。最終交尾から数えてみると9月中旬が出産予定日です。7月頃になるとザブコがゴンを嫌う様になりゴンには気の毒だけど、又別居生活です。8月末頃にはオッパイも大きくなって、いよいよ出産が近いなと感じました。私がカバを担当する様になって初めての経験です。

カバの出産に何度も立ち会ってきた先輩飼育係にあれこれと聞き、オロオロと落ち付かない日が続きました。当のザブコは今迄10回も経験しているからか、こちらの心配をよそに、全く知らん顔で普段通りの生活です。

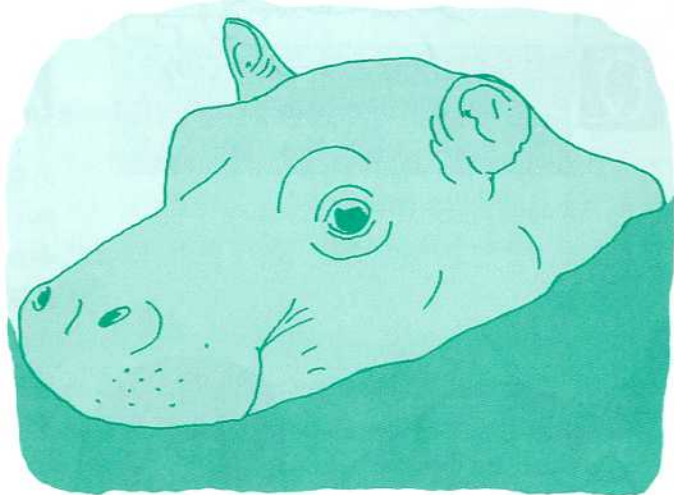
9月16日朝、ザブコの所に行ってみると、立ったり、座ったり、時々上の方を向いて、ため息を付いていました。陣痛が来たのです。出産シーンが見られるかもしれないと期待し、時々そっと覗きに行きましたが、ほんの10分間離れたすきに、「あれっ」チビカバが泳いでいるではありませんか。出産シーンは見られませんでした。



が母仔共元気で、まもなく授乳も確認出来、ほっと一安心しました。

カバは水の中で授乳するので、赤ちゃんカバは大変です。水に潜ってオッパイを飲んで、あわてて水面に顔を出し「フーッ」と息をして、又水に潜ってオッパイを飲む繰り返しです。赤ちゃんカバの推定体重は40~45kg、ザブコの2500kgの身体をそのまま小さくした赤ちゃんカバはユーモラスでとっても可愛いんです。

来年、動物園が開園する頃には、そろそろ一人歩きしてザブコを困らせる姿をご覧いただけるとと思います。期待して下さい。





小さな疑問から大きな疑問まで、『げんちゃんの追ボコナー』へ、どんどんお送り下さい。採用させていただいた方には、旭山動物園特製「エゾシカの角のキーホルダー」をプレゼントいたします。

Q どうして犬はしゃべれないの？
札幌郡広島町 高津 よしひろ君
当麻町 豊島 萌子 さん

A どうしていぬが？ じゃなくて、どうして人だけがしゃべれるのか考えてみましょう。人の祖先はずっと昔チンパンジーと同じように森の中で生活していました。気候の変化で森が少なくなった時期、人の祖先は生活の場を草原に移しました。ねずみのように穴を掘って隠れることもできず、シマウマのように速く走ることもできない人の祖先は、肉食獣に襲われる恐怖から少しでも遠くが見えるように2本足で立ち上がって生活するようになりました。頭が体の上に乗るかたちになったので、のどを使う（声を出す）自由度が増えました。手を歩くために使わなくなったので、手先が器用になり脳が発達しました。やがて道具を使うようになりました。

ところで人の祖先は何を食べていたのでしょうか？ 苦労せずに手にはいる果実はなく、草や木の根だけをを食べるには牛や馬のような特殊な消化器がありませんでした。そう肉食類人猿になったのです。森で生活していたときも虫や鳥、小型哺乳類を食べていたので、肉食は生理的には問題がありませんでした。でも獲物を捕まえるのが大変でした。自分の体にするどい牙や爪、脚力のない祖先は槍や斧などの道具を使い集団で獲物を追いつめ狩りをしました。この時かなり高度な作戦や連携プレーが必要でした。ここで言葉が生まれたのです。自分の体に何一つ特殊な能力のない祖先にとって、集団の個々が一つの意思で手足のように行動する必要があったのです。

犬も狩りをしますが、獲物を捕るために特殊化した体を持つ犬には、言葉は要らないのです。せいぜいいくつかの合図があれば十分なのです。確かに犬は人の言葉がある程度理解しますが、自分もしゃべりたい、という回路は彼らの脳にはないのです。



クイズ

私は誰でしょう？
3枚の写真はある動物の一部分です。では、この動物はいったい誰でしょう？



前号のこたえ

正解はエゾタヌキでした。
《正解率10%》
むずかしかったかなあ！
キーホルダー当選者
札幌市 さわぐち ゆうみさん

正解者の中から抽選で3名の方に旭山動物園特製「エゾシカの角のキーホルダー」が当たります。
応募方法 ハガキに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を書いて旭山動物園モユク・カムイ係までお送りください。
応募×切 1992年12月25日

飼育日記 《平成4.7.6～平成4.10.20》

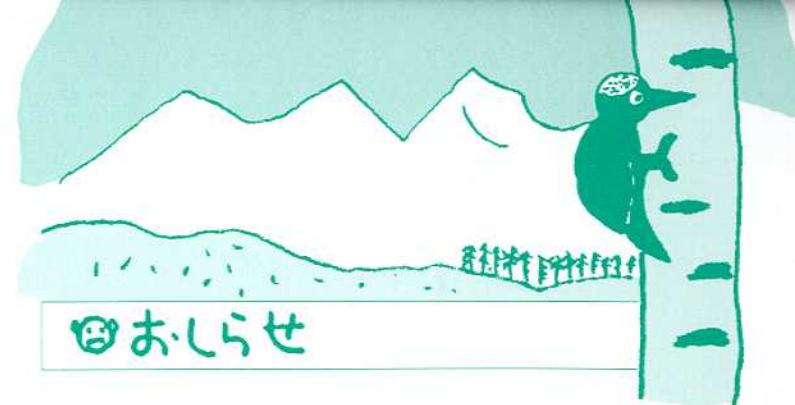
- 7. 6 ニホンザル♂死亡（闘争）
- 7. 11 ZOOガイド「北海道教育大学旭川分校」
- 7. 17 ZOOガイド「深川市多度志三小学校」
- 7. 22 ZOOガイド「下川町立下川中学校」
- 7. 23 クロエリハクチョウ、キツネに襲われる
- 7. 25 夜の動物園～26
- 7. 26 親子動物教室「昆虫標本・チョウ」
- 7. 27 アジアゾウ、前足化膿 ～9.4
- 7. 30 アオサギ、3羽農薬中毒の疑いで保護
～31, 8/7, 8, 12に合計8羽が保護された
- 7. 31 ZOOガイド「旭川市立忠和中学校」
- 8. 2 親子動物教室「昆虫標本・カブトムシ」
- 8. 3 第13回動物園サマースクール ～5
- 8. 8 爬虫舎改築のため、ワニを移動する
- 8. 9 親子動物教室「夜の虫たち」大雨のため中止
- 8. 14 フタコブラクダ、肝硬変で死亡
- 8. 16 チュウゴクオオカミ、ミミカイセン治療～22
親子動物教室「虫たちを作る」
- 8. 17 ホッキョクグマ舎工事のため、移動
- 8. 30 ZOOガイド「旭川市広聴広報課」
- 8. 31 ZOOガイド「旭川市立啓北中学校」
- 9. 1 ZOOガイド「遠軽町立社名淵小学校」
- 9. 10 ZOOガイド「当麻町立当麻小学校」
- 9. 11 ZOOガイド「旭川市立北星中学校」
- 9. 14 ZOOガイド「当麻町立緑郷小学校」
- 9. 15 ZOOガイド「シレニア会・沼田化石研究会」
- 9. 17 ZOOガイド「旭川市立広陵中学校」
- 9. 22 ZOOガイド「愛別町立中里小学校」
- 9. 24 ZOOガイド「旭川市神居公民館」
- 8. 28 ユキヒョウ、駆虫
- 8. 29 チンパンジー（♂：キーボ）、麻酔
9. 7 アオサギ、7羽放鳥
- 9. 16 カバ出産（8年ぶり、11仔目）
- 9. 19 エゾシカの角にゴムホースを付ける
メスを角の事故から守るため
ワビチ、仕切り柵に角を絡めて動けなくなる
麻酔をかけて救出
- 9. 28 カバ親子、一般公開
- 9. 29 (株)日本動物園水族館協会
第40回動物園技術者研究会
「マルミミゾウの突発性起立不能について」坂東
於：旭川市民文化会館 ～30
10. 3ニホンザル（♀：ヒジ）、外傷 ～12
- 10. 4 チンパンジー、風邪 ～11
- 10. 6 日本動物園水族館協会北海道ブロック
飼育技術者研究会
「シロフクロウの繁殖について」牧田
於：稚内 ～7
- 10. 15 日本動物園水族館協会
第5回種保存委員会拡大会議
於：横浜 ～16
- 10. 16 チュウゴクオオカミ 外耳炎
- 10. 18 '92さよならウォークラリー
平成4年度 閉園
ありがとうございました
- 10. 20 ワニを病院へ移動（新居完成までの仮住い）



飼育動物数

(11月1日現在)

哺乳類	39種	142点
鳥類	94種	508点
爬虫類	8種	27点
合計	141種	677点



お知らせ

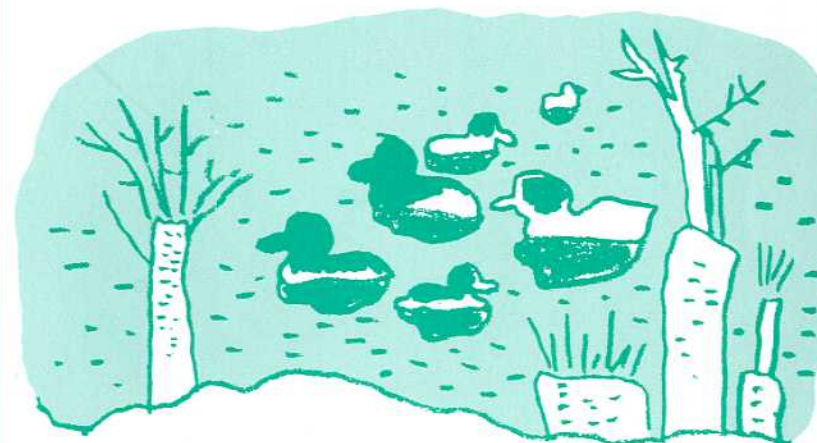
◎児童動物画コンクール表彰式

今年度の児童画コンクール優秀作品展示会が12月5～7日、マルカッデパート6F催事場で行なわれます。

表彰式は6日午後1時から同会場にて行ないます。(P.6,7 参考)

◎モユク・カムイの申し込み方法

1年分の送料として120円切手を4枚同封して、旭川市旭山動物園モユクカムイ係までお申し込みください。



編集後記

今年は動物園界の飼育技術部門、最大のイベントである動物園技術者研究会が旭川で行なわれました。全国の動物園水族館から81名が参加し、活発な意見の交換が行なわれました。その準備や何やらでモユク・カムイの編集が大きくずれ込み、皆様にはたいへんご迷惑をおかけいたしました。要するに遅れたお詫びを言いたいだけなのです。すみません。

今年の開園を終え、ずいぶん雨が多かった年だなあというのが一番の印象です。農家の方も不作で大変だったと思いますが、動物園も入園者の数がガクッと落ち込んでしまい、園長初め落ち込んでおります。

しかし、8年ぶりにカバの赤ちゃんの顔を見ることができたのは幸せでした。来年の開園にはずっと可愛らしくなって、皆様をお待ちしています。



モユク・カムイ No.30 平成4年11月15日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
発行人 菅野 浩 編集委員 小菅 正夫・阿部 寛・坂東 元
印刷 谷川印刷株式会社 〒070 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653